

Vol. 224 街道を周遊する魅力ある街を 亀山から松丘、久留里、小櫃コースを… (平成24年1月25日)

何故今観光へ力を入れるのかと聞かれたら、これから日本の人口は2100年までに半分以下の5千万人になります。定住人口あと10年後は全国都市の人口が激減いたします。

幸いこの房総は観光資源、食料自給力に恵まれている利点を生かして、観光流入人口を増やせる可能性が大だからであります。

大晦日に「幸福の鐘」について以来、何組かの方から「知らなかった」「どこかわからない」との問い合わせが続き、都合で何回か案内させて頂きました。千寿の湯の隣の駐車場から高い木立の林の中の小道を行くとやがて正面に吊り鐘と洞門が現れ、流れ落ちる滝の中に濃いJAPANブルーの色をした亀石がいくつか姿を現し、更に道を降りて左へと谷間を縫うように、美しいひし形に屈折した木道橋があります。そこで人々は「うわぁ～すごい!」と歓声を上げます。この駐車場入り口で毎週土日には伊原道子さんら7名の方達がテントの直売所で地元の山野菜、煮物、漬物や亀グッズを売り始めておりました。ゆずと生姜の砂糖漬けはうまいので全部土産に買いました。サービスの甘酒が厳しい冷気の中で心も体も暖めてくれました。帰り道上総屋京兵衛に寄ると相変わらず「そば」うまいがすっかり元気になった京兵衛さんに乾杯である!!

平山駅の前には「小さな旅」などで有名な「焼きそば店」があります。ご両親はなくなられたが後を継いだ娘さんは、稀有の才能、技量を持った名陶工であります。是非地元でも拝見できる機会を作って下さるようお骨折りを頂きたい人です。平山駅の東方に大原神社が森に囲まれております。ここの神楽舞は素晴らしいものですが、重文クラス?の大絵馬があり、私は30年位前からよく拝観しております。幸い今神官は「画家白熊大氏」であります。絵馬展覧と子供達と平成の絵馬を描く会でもいかがでしょうか?亀山神社も一見の価値ある古色蒼然の社です。

県内で観光客の多いのは神社仏閣です。もっと案内看板が欲しいですね。

つい先日、久留里の町の空き店舗に鳥井まり子さん達8人で「憩いの広場」を作られ、名称通り町内外の人たちのコミュニティ広場として開放されており、町の特産物や手作りのお菓子、手芸品など沢山即売されております。手編みのマフラーなどは手のぬくもりが伝わってきて私は2本も買ってしまいました。ボランティアが揃えば平日も開店したいが今の所土日祭日のみの開店です…と。すぐ先を右へ曲がると二人並んでは通れないみゆき通りと言う名の横丁があります。私は昔この横丁が大好きでした。中華料理店が大繁盛いたしております。すぐ隣に黒文字楊枝の森光慶さんの後を継がれた森隆夫氏の指導を受けて佐久間紹夫さん達13名が楊枝作り工房?(伝統黒文字楊枝館)を開かれ観光客にも開放されておりました。この横丁に明るい灯がまた一つ灯った喜びを感じました。この横丁を抜けると目の前に正源寺があります。3月24日から山徳さんの長い努力が叶って毎月第4土曜日骨董市が開かれることとなりました。骨董市だけでなく「久留里の楽市楽座」としてにぎわってくれる様強く願っております。

「夢は持つものでなく、夢を持ったらすぐやる!今やる!いつもやるでなければ、夢でなく幻です…」

森永卓郎

